

世田谷区スポーツ推進計画(素案) パブリックコメント実施結果

計画全体への意見

該当箇所	意見概要	区の考え方
計画全体	「新しい時代、新しい環境のもとでのスポーツの再定義」が必要ではないか。	本計画では、スポーツをより身近なものと感じていただくため、スポーツの概念を幅広く捉えています。 このため、ルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツだけでなく、健康の維持増進のためのウォーキングや軽い体操、介護予防のためのトレーニング、様々なレクリエーションなど、目的を持った身体活動の全てをスポーツとして扱っています。
	すばらしい計画で、是非世田谷全体に広げていただきたい。日本では「スポーツ」と「体育」が混在しているので、整理してほしい。	
	抽象論をつくることはたやすいが、各論を詰め、工程表をつくり、それらを具現化していくことが重要である。 (他1件)	「世田谷区スポーツ推進計画 年次計画」によって、項目ごとの年度計画をたて、進捗管理をしながら実行していきます。
	スポーツ推進は良いが、それに使う予算は税金であり、もっと他に有効に使うべきだ。 スポーツにより健康となり、医療費圧縮とはならない。 無用な支出は減らし、役人の理想や仕事をつくるためのスポーツ計画より、今のいろいろな面での不足を充実させるために税金を使うべし。 オリンピックに乗り、不要な計画をつくる必要なし。	スポーツは、健康を保持増進させるだけでなく、心身の健全な発達、精神的な充足感の獲得などにも役立つものであり、本計画は、スポーツによって元気に暮らしていける、生涯スポーツ社会を実現するための目標を定め、目標に向かって計画的に進むために策定します。 計画に基づく施策の展開にあたっては、無駄を無くし、必要最小限の経費で進めていきます。
	「モチベーション施策」の面が弱いように思う。「3場の整備」の次にこの問題を取り上げてはどうか。	スポーツが苦手な人がスポーツを始めるきっかけづくりや、現在スポーツをしている人がスポーツを継続していくために、モチベーションを高める、維持することは重要です。 スポーツをすることの必要性などの啓発に併せ、モチベーションを高める・維持するための啓発も行っていきます。
	スポーツをするのも人間だから、体をよく見つめてスポーツをする。スポーツをして体を壊しては、何もならない。この項目を入れてほしい。	いただいたご意見を参考に、スポーツ推進計画 第4章「目標を達成するための重点的な取り組み」の1生涯スポーツの振興の記載内容を、「安全で適切なスポーツ振興施策を展開していく」に修正しました。 今後、それぞれの体力や運動能力などに合った、無理のない教室などの展開や、啓発などを行っていきます。
	基本理念を再検討してほしい。現実からかけ離れている。「いつでも、どこにもスポーツ施設はない」。地に足をつけた「地道な努力」が大切である。 競技スポーツの向上を図らないと生涯スポーツ社会の実現の道は遠いと思う。	競技スポーツの発展・向上や、新たなスポーツ施設の確保など、生涯スポーツ社会を実現していくための課題は、まだまだ多くあると認識しています。 本計画及び年次計画によって、目標の達成に向け、一步ずつ、計画的に施策を展開していきます。
	ユニバーサルスポーツの実施と人材育成、総合型地域スポーツクラブの拡大、教育におけるスポーツ、障害者スポーツの理解など、誰もが楽しめる、そして支援があればチャレンジできる企画実施や、サッカー、野球そしてまちづくり運動会など地域一体となって参加できる魅力の場として「区民スポーツまつり」の継続、そしてトップアスリートの支援にて一緒に汗をかける、魅力の世田谷をめざして欲しい。	生涯スポーツの振興や障害者スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化、または世界を目指す選手の育成・支援など、世田谷らしいスポーツ施策の展開によって、世田谷の魅力アップにつながるよう努めていきます。
大衆性の高いスポーツ、テニス・バスケット・サッカー・アイススケート・ゲートボール・太極拳等の区運動連盟の組織作りをして、各スポーツの経験者を募り、小学校や地域コミュニティと連携・指導をして、密接に後押しをして組織を広げていくことだと思います。	公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団(以下「財団」という。)は、世田谷の体育協会として、区内各スポーツ連盟などを賛助会員として取りまとめています。 現在、財団では区内小中学校と連携した事業や、指導者の登録制度などを行っていますが、今後もより一層の区内スポーツの発展に向けた事業展開などを行っていきます。	

「生涯スポーツの振興」への意見

該当箇所	意見概要	区の考え方
1 ライフステージに応じたスポーツ振興施策	全体	生涯スポーツ社会の実現を目指すためには、スポーツを始めるきっかけづくりが大変重要なことだと考えています。 きっかけは、それぞれの人により違ってきますが、様々な啓発や各種教室の実施など、「スポーツをやってみよう」と思える環境づくりに努めていきます。
	区の運動教室に参加し、ありがたく思っているが、10回で終わってしまう。こういう場所を継続できるとよい。	スポーツを始めた方が、スポーツを継続していけるような場の提供や、モチベーションを維持していけるような工夫など、様々な施策を検討・実施していきます。
	保健センターで行われているスポーツのプログラムは理想的で、近所でも開催してほしい。指導員の出張を望みます。 (他1件)	身近な場所でスポーツに親しめる環境づくりが、地域スポーツの振興の基礎になると考えています。 スポーツ推進委員や関係所管と連携し、各地区のまちづくり活動などの協力のもと、身近な場所でのスポーツ活動の充実を目指していきます。
	気軽に毎日スポーツをするため、地域の公園などで、朝の体操やジョギングなどを行うように呼びかけたり、行っ会などを作ってほしい。	
	子どもから老人まで、ウォーキングが基本だと考えている。その人のスタミナに合わせ、歩ける距離を選べるウォーキングの催し物を提案する。	ウォーキング、ジョギングなど、「歩く」ということは、最も身近で手軽にできるスポーツです。
	散歩が継続しにくいので、町の歴史等を解説しながら継続できる工夫を区が企画する。	本計画の中でも、都市整備領域との連携・協力のもと、緑道など散歩・ジョギングができる道の整備などを進めることとしています。 また現在、財団によってランニングクリニックなどを実施していますが、無理なく、怪我をしないような走り方の教室や、楽しく続けられるような催しなどを検討していきます。
	スポーツは歩くこと、走ることが基本だと思う。安心して歩け、安全に走れる場所を設けてほしい。その先に、種々のスポーツがあると思います。 (他1件)	
定期的に、集団での歩行訓練をしてほしい。		

該当箇所	意見概要	区の考え方
1 ライフステージに応じたスポーツ振興施策	毎日のラジオ体操を公園広場、空き地、小学校体育館で実施する。リーダー育成、設備設置を区で企画する。 (他1件)	生涯スポーツ社会の実現を目指すため、様々なスポーツ種目に参加する機会や場の提供が必要だと考えています。今後も、財団や、財団の賛助会員である区内各スポーツ連盟などと連携し、各スポーツに参加する機会や場の提供に努めていきます。
	負担のかからない生涯スポーツとして、水泳(ウォーキング含む)を幅広い世代に取り入れてもらいたい。	
	要支援とならないための高齢者運動施策や、ひきこもり防止として、パークゴルフを推進してほしい。グランドゴルフに満足しない人が増えている。	
	健康な身体をつくり保持することは、医療費の削減になるばかりでなく、社会も明るく活発になり、経済面でも効果がある。ゴルフの山岳コースは、ゴルフをしながら山登りもでき、体を鍛え健康を維持するのに一石二鳥である。現在、ゴルフをする人が減り、ゴルフ場の倒産が続いている。ゴルフ人口を増やすために、プレイした人に補助などできないか。	
	昨年まで、区立中学校の体育館を使って、ダンススポーツ連盟による初心者ダンス講習会があったが、今年からなくなった。受講をきっかけに、社交ダンスを始めた方が大勢いる。高齢者にとって、3ヶ月位の講習は生涯スポーツを始める良いきっかけになると思う。是非近々に講習会の復活を考えてほしい。	
	太極拳はいつまでも続けられる運動で、小さい子はカンフー体操で足腰が鍛えられ、高齢者まで、その年齢に合った無理のない全身運動が行える。太極拳を行う人が増えていくようになると、健康な人が増えていくと思う。その場所・施設を区が援助してほしい。 (他2件)	
	小学生の武道、特に剣道、柔道の地域での教室を設けてほしい。玉川地区での弓道の機会を増やしてほしい。	
(1)子どものスポーツ	生涯スポーツの振興や地域スポーツの振興は今後の高齢化社会や地域コミュニティ強化に向けてとても大切だと思う。現在、総合運動場体育館で行っているようなヨガやエアロピクスと同様に、砧公園でもランニングクリニックやサイクリング、その他を開催してもらえないか。砧公園の有効利用、地域の人々との知り合うきっかけ、またスポーツ教育(ランニングを自己流でやっても膝を痛めて終わることもある)に繋がると思う。	現在、総合運動場や千歳温水プールなどで実施している各教室などを、区内公園など、より多くの場所で実施できるよう、公園を管理する所管と検討・調整を行っていきます。
	女子サッカーチーム「スフィーダ世田谷」は世田谷の誇り、広告塔です。しかしながらまだ知名度も低く、財政的にも厳しい運営と思料します。来年以降1部昇格を目指し、世田谷のシンボルとすべく、区民全体で支援、応援する体制を構築していただくようお願いしたい。また、そのためにも、広報面で積極的に取り組んでいただけることを期待する。	区内には、トップレベルで活躍しているスポーツ団体・選手がたくさんいらっしゃいます。区では、各団体・選手が活躍し、区民の希望や目標となるよう、支援に努めていきます。
	まず、幼児期から広々とした空間で身体を動かす楽しさを味わわせることからはじめ、知育に熱心な親を地域の児童館での体力作りに参加させることが望ましいと思う。	本計画においても、生涯スポーツを継続していくきっかけとして、幼児期にスポーツに親しむことが重要としています。幼児期にスポーツに親しむため、家族で行うスポーツの充実や、保護者への啓発活動などを実施していきます。
	区内の大学、高校、中学校、小学校の体育の先生を講師に、スポーツへの取り組み方、成果及び課題等について、講演してもらう。その要旨を、区報に載せて公表する。きっとほかの学校でも大きな関心を持つと思う。	子どもの体力向上のためには、学校における体育をより充実させていくことが必要だと考えています。今後も、指導者の派遣や、総合型地域スポーツクラブをはじめとした地域スポーツとの連携強化など、学校における体力向上への取り組みへの支援を行っていきます。
	体育の先生の知識不足か、保健の先生が正しい知識をもっていないのか、子供の腰痛が多い。ケガが多くなる。勉強会を開いて下さい。	教育委員会事務局により、体育担当教員、保健担当教員を対象に、計画的に研修を実施し、資質・能力の向上を図っています。今後も、研修内容等の充実にも努めていきます。
ゲームで体を動かさない子どもを、様々な工夫でスポーツに興味をもたせ、スポーツに進むようにしてほしい。	総合型地域スポーツクラブをはじめとした、地域スポーツ団体との連携・支援などにより、子どもがスポーツをする場を充実させていくとともに、スポーツに興味・関心をもつような取り組みも検討・実施していきます。	
子どもがゴルフ教室に行っているが、できれば世田谷区での育成・支援を受けることができるゴルフ教室(ジュニア)を作してほしい。大蔵第二運動場のゴルフ練習場があるのだから、それを使ってジュニア教室を作してほしい。	現在、大蔵第二運動場では、中学生以上を対象としたゴルフ教室や、個人レッスンを行っており、また区内ゴルフ練習場を会場に、小学3年生から中学生と18歳以上を対象にしたゴルフ教室も行っております。今後も、ニーズに合った教室の実施など、改善・検討を進めていきます。	

該当箇所	意見概要	区の考え方
1 ライフステージに応じたスポーツ振興施策	(2) 成年のスポーツ 女性が参加できるようなスポーツ教室やイベントをもっと実施してください。たとえば、バレエやダンスなど。	現在財団では、各種ダンス教室など、女性が参加できる教室やイベントを実施しています。今後も、よりニーズに合った教室の開催など、スポーツに参加する場の拡充に努めていきます。
	日頃運動しづらいパパ・ママ用に、託児のあるスポーツ教室をやってほしい。	現在、総合運動場・千歳温水プールにおいて託児サービス付きのフィットネス教室などを実施しています。今後も、託児サービスの拡充など、子育て中でも安心してスポーツができるような環境の整備に努めていきます。
	(3) 中高年のスポーツ 現状の体力や筋力を保つため、長く続けられるスポーツを始めたいが、年齢制限があったり、施設が近くになかったり、何も始められていない。 先日米寿を迎えた母は私よりもっと制約が多くなり、スポーツの催しに参加できない。 寝たきりの人を増やさない体力づくりを考えていただきたい。 二子玉川公園に憩いの家のような建物があり、ラジオ体操で集まり、公園を一回りするだけでも、お年寄りにとっては貴重なスポーツだと思う。 書道、歌の会、絵画、絵手紙、卓球等々で何室か貸していただければ、一日中家に閉じこもっているお年寄りも少なくなると思う。 最近足腰を痛めている方を多く見かけます。その予防とリハビリにも力を入れてほしい。 その一つとして、住居の近い所での施設の開放と、自分で家で出来る簡単な運動、マッサージの仕方などを教えたらどうか。	高齢化が進む中、健康の保持増進を図るためにも、中高年のスポーツ参加を増やしていくことが必要だと考えています。今後、財団や総合型地域スポーツクラブ、保健福祉領域などと連携し、レクリエーション的な要素を取り入れつつ、気軽にグループ作りができるような、楽しみながらスポーツを継続できるような場の拡充などを行っていきます。
(4) 障害者スポーツ	知的障害のある子どもがいるが、就労して親から独立した時に、余暇の楽しみの一つにスポーツが出来れば素晴らしい。その場合、寄り添って支えてくれる人が必要になる。プールの介添もしてくれるような、スポーツ系のヘルパーが欲しい。団体で楽しむスポーツだけでなく、個人で楽しむ場面も充実して欲しい。	障害者スポーツを推進していくためには、指導者やサポートスタッフなどの育成・充実が必要です。いただいたご意見を参考に、計画に「障害者スポーツを支える人材の育成」を追記しました。
	リズム体操(障害者)を楽しみに参加していた。運動不足になりがちな生活の中、一般のスポーツジムでは他の利用者との関係も難しく、とてもありがたく、喜んでいました。しかし中止になったり、再開したり、また今は中断のようですが、是非継続していただきたい。また、利用者へのお知らせなど充実してほしい。利用したい人はもっと数多くいると思う。	
	この計画(素案)に基本的には賛成だが、細かく見ていくと納得しがたい点もある。 ライフステージと書かれているが、障害のある人等への配慮がまったく抜けている。区はこういった社会的に弱い人々に対してもスポーツの間口をもっと広げるべきだ。 区のスポーツ施設は老朽化している施設もあり、今後の運営方針の検討や改修に取り組む必要がある。 特に、今後の一番大切な姿として、障害者スポーツの理解と促進、そして誰もがチャレンジできるような対策が必要だが、残念ながら区施設はバリアフリーとは言えない施設も存在し、チャレンジしたいが受け入れられないなど、まだまだ大きな壁がある	障害があっても、いつでもスポーツを行うことができる、という環境には、まだまだ遠い状況にある、と認識しています。障害のある方が気軽にスポーツに参加できるようになるよう、スポーツ教室や各種イベントなどの充実を図っていきます。また、障害のある方にとって安全で利用しやすいスポーツ施設となるよう、障害者関連団体などの意見を聞きながら、障害のある方のニーズに応じた施設の整備やサービスの改善を行っていきます。
	私たちの利用する学校体育館は、障害者にはやさしくない。問題は、学校が障害者の入学を想定していないためではないか。	
育を2 成支 えス 支 援 力 の ツ	(1) スポーツ推進委員 地域住民のスポーツの集まりで、人と人の交流がうまくいかず、溝ができる本末転倒の事例が見受けられる。スポーツ推進委員、スポーツ指導者の技術面以外の指導力に期待する。	障害者スポーツへの理解を促すためにも、障害のある人もない人も、一緒にスポーツに参加する機会は、重要であると考えています。いただいたご意見を参考に、計画に「障害のある人もない人も、ともに楽しむことができるスポーツイベントなどの検討を進める」ことを追記しました。
	(5) スポーツ情報の発信 もっと既存の施設について区民にPRするべき。現状、使いたくても場所の存在すら知らない人もいると思う。 区のホームページやSNS等での配信をもっと強化すべき。 計画の趣旨に賛成ですが、区として、どんなスポーツ団体が、どんな方々にどういったことを提供しているかの情報提供をしてほしい。	区や区内の大学・スポーツ団体が行っている、様々なスポーツ教室などの活動や、区内のスポーツ施設など、それぞれの情報が行き渡っていないため、区民がスポーツに参加する機会を逸している現状があると考えています。このため、様々なスポーツに関する情報を統合・整理し、また情報を届きたい相手に的確に届けられるよう、工夫を行っていきます。

該当箇所	意見概要	区の考え方
2 スポーツを支える力の育成・支援	(2)スポーツ指導者の育成・活用 世田谷市民大学の中にスポーツ指導員養成講座を設け、基礎知識を学んだ人に指導員の資格を得てもらい、スポーツ振興に役立ってほしい。 かつては講習を受け、資格を取った。とても勉強になった。	地域スポーツを活性化し、生涯スポーツ社会を実現していくためには、その担い手である指導者の育成と実践的な活動が不可欠だと考えています。 現在、財団により、指導者を養成し、登録・活用する総合的な仕組みとして「世田谷区スポーツ・レクリエーション指導者制度」を設けています。今後は、財団との連携のもと、指導する側・受ける側とも、より活用しやすく、登録後も指導者の質の維持やさらなる向上できるような制度となるよう、改善に取り組んでいきます。
	区主催の健康スポーツ教室に参加した。指導者が良く、また参加したいと思ったが、指導者の生活は大変だろうとも思った。もっともっと若いリーダーを育て、それなりの仕事と賃金がもらえるようにしてほしいと思う。 区は、一生懸命に全力で指導してくれる、ありがたい指導者を常に育てる努力をしてほしい。	
	20年ほど障害児の運動教室をしていたが、若い指導員が来た際に、演技を見せ、指導はしてくれたが、日々の練習や、初歩のことなど、具体的な手ほどきがなく、参加者の声を聞くことも、話し合いもなかった。 私の経験では、指導者の「指導」には、目配りが足りないと思った。	
	適切な運動指導員の確保をしてください。	
3 競技力の向上	(1)各種競技大会の実施 区民体育大会柔道大会が開催されたが、ここ数回の中でも一番質素に感じられ、人・物・金の面でとても推進計画を模索している区の後援がある大会ではなかった。 日曜日とはいえ、区役所の隣で実施されているのだから、計画と同時に中身を知って、考えることが策定の第一歩だと思う。	スポーツを継続していくためには、区民体育大会など、区民の身近な目標となる競技大会の実施も必要だと考えています。 今後は、財団や各種競技団体などと協力し、区民の目標としてふさわしい大会であるよう、内容の充実を図るとともに、開催環境を整備しながら継続して実施していきます。
	世田谷246ハーフマラソンに4年連続で落選している。出場人数を増やすとか、世田谷区民枠を設けるとか、前年にボランティアした人を優先にするとか、もう少し工夫できないか。	世田谷246ハーフマラソンにつきましては、現在も、世田谷区民の出場枠を多くとるなどの工夫を行っていますが、それを越える応募をいただき、抽選となっています。 より多くの方に参加いただけるよう、出場人数を増やしていきたいと考えていますが、交通事情等への影響もあり、一度に大幅な人数を増やすことが難しい状況もあります。 今後は、関係機関と調整し、出場人数の増加を目指していくとともに、同時開催している健康マラソンの出場人数を増やしていくなど、改善を進めていきます。
	生涯スポーツや地域スポーツの基礎は、世田谷区民の日々の健康に結びつくものと考えます。 私は多摩川でのマラソン大会にずっと参加してきたが、ハーフマラソンが始まって健康マラソンになり、抽選に外れ4年連続参加・出場できていない。 セミプロ参加のマラソンではなく、親子や老人、子ども、初心者も参加し、世田谷区民が多く出場できる行事にしてほしい。もう一度、多摩川の初心に帰ってほしい。	競技力の向上のため、若い世代からの強化・育成を行い、競技力の底上げをしていくことが必要だと考えています。 今後は、財団との連携のもと、ジュニア選手育成を行っていくとともに、東京都によるジュニア育成事業とも連携していけるよう、調整を進めていきます。
(2)ジュニア育成事業の推進 器械体操競技が行える場所は、区内にはほとんどなく、区外へ行かないと練習ができない。 選手育成コースのあるところへバックアップすると、区外への人材流出を防げると思う。 また、例えばジュニアアカデミーを一般の体操教室で推薦された子供達対象にするのもよいと思う。	世界との交流を促進し、特に12才～17才までの世代でスポーツ文化交流を推進する。	
世界との交流を促進し、特に12才～17才までの世代でスポーツ文化交流を推進する。		

「地域スポーツの振興」への意見

該当箇所	意見概要	区の考え方
成・1 支援 総合型地域スポーツクラブの育成	全体 総合型地域スポーツクラブについて、「総合型」とは何か。よりイメージしやすい表現にしていきたい。あらゆる人々を対象とするということか。多くの種類のスポーツを対象とするということか。	区では、総合型地域スポーツクラブを「地域住民が主体的に運営し、身近な生活圏である学校施設などを拠点に、子どもから高齢者まで地域の誰もが会員として、年齢や技術に応じて、定期的・継続的にスポーツ活動を行うことができ、単にスポーツ活動の場であるだけでなく、地域住民の交流の場とするために結成した組織」と定義しています。 いただいたご意見を参考に、計画に総合型地域スポーツクラブの定義を追記しました。
	(1)新たな総合型地域スポーツクラブの育成 一つのスポーツクラブを運営していくことはできても、「総合型」となると、一個人でまとめていくのは難しいので、区が主導で同じ地域の団体を交流(会合)させるのも良いと思う。	総合型地域スポーツクラブは、地域住民の主体的な運営による組織となっています。 総合型地域スポーツクラブの設立にあたっては、財団やスポーツ推進委員と連携し、設立準備組織などへの支援をおこなっていきます。
	(2)総合型地域スポーツクラブの発展に向けた支援 総合型地域スポーツクラブの育成を図り、地域の自治会、町会のまちづくりに繋げる仕組みを構築できると良い。	総合型地域スポーツクラブをはじめとした地域スポーツの活発化を図り、町会・自治会などの地域の活動団体などとも連携し、人と人、地域と地域の交流など、地域の活性化を図っていきます。
3 地域スポーツの活性化による	(1)地域スポーツの振興による、人と人、地域と地域の交流 地域活性では、地域に根ざした競技、クラブを競技力向上につなげる。単一競技でも支援を行う必要がある。 なんでも総合型地域スポーツクラブにするより、特定のスポーツを特定の地域に定めて出来るようにするほうが、スポーツのみならず、全体的な人の動きがおこり、世田谷全体の活性化となる。 総合型にすると、地域によっては全く流行らないクラブが出てくる。無駄のないように、投資した資本の活用を行う。	総合型地域スポーツクラブに限らず、地域において活発になっているスポーツ団体などがあれば、場の提供や指導者の派遣など、地域の実態に応じた支援を行っていきます。

「場の整備」への意見

該当箇所	意見概要	区の考え方
「場の整備」全体	スポーツの場の整備のためにも、「都市整備の基本方針」とリンクし、つなげていけるようにすると良い。	いただいたご意見を参考に、(3)地区施設の内容に、公園や広場、緑道の運動施設の充実など、都市整備の基本方針との連携を図った内容を追記しました。
	スポーツは大変良いことだと思うが、校庭などを毎週土・日に使われると、近所の方は、声の大きさに大変迷惑している。これは、近くに住んでいないと分からない。そのようなことをよく考慮した上で推進してほしい。	スポーツの場の整備にあたっては、施設近隣にお住まいの方などのご意見を伺い、騒音対策や利用者への注意喚起など、迷惑を最小限とするような工夫に努めていきます。
	私たち年金生活仲間は、厚生年金スポーツセンター時代のゴルフ練習場に毎日通っていたが、区営となり、施設の使用料はもとより、サービスも悪化し、行けなくなった。現在、サービスの良い所を区外に探し出し、仲間たちも連れ通っている。区は、もっと民間を手本とし、現地を見て、真の区民のためのスポーツ振興をすべきであるので、猛省を促したい次第だ。民間の業者の努力をもっと現地に赴き勉強するべきと、平素仲間も立腹している次第だ。	利用者の皆様が安心して心地よくご利用いただけるよう、現場スタッフの接遇をはじめとして、サービスの向上に努めていきます。
	運動場設備のバリアフリーやユニバーサルデザインの導入など、万人が使えるようにしてほしい。	今後、新たな施設については、バリアフリーやユニバーサルデザインに基づく整備を行うとともに、既存施設については、だれでも利用できるよう改修を進めていきます。
	尾山台地域体育館にエアコンをつけて欲しい。夏は熱中症の人が出るほど暑く、冬はシンシンと冷える。今どき、スポーツクラブはどこでもエアコンがある。	尾山台地域体育館は、高齢者の利用率も高く、夏の熱中症対策は喫緊の課題と認識しています。空調機の設置については、施設の構造や高電圧機設置場所等の課題があることから、今後もスポットクーラーの増設や大型送風機設置の検討、屋上換気扇の運転及び排気窓の開閉など、改善に努めます。
	トレーニングルームについて、効率良く使用する工夫が必要だと思う。現に使用している施設を整備・拡充するのが先ではないか。(他1件)	新たな場の整備とともに、既存施設の改善・整備も行っていきます。
	千歳温水プールが10月から半年の長きにわたり閉館している。一方でスポーツ振興をうたいながら、他方で堂々と6ヶ月も施設を休む感覚が信じられない。区民のことを考え、真剣にスポーツ振興を図るなら、せめて施設休館は2、3ヶ月にしてほしい。	千歳温水プールにつきまして、平成25年10月から平成26年3月まで、施設設備の老朽化に対する改修工事を行っています。施設を安全にご利用いただくための工事を行っていますので、ご理解、ご協力いただきたいと思います。
	現在、アーチェリー場は大蔵運動場と世田谷公園内にあるが、距離が短く満足な練習ができない。オリンピックや世界選手権は70m・50mで競っており、世田谷の選手は他区の施設で練習している。オリンピックは7年後、今中高生の期待できる選手も沢山いる。是非70m射場にしてほしい。	
	フットサルができる施設がどんどん減っており、予約も取りにくくなっている。施設が減っている理由としては恐らく利用者のマナーが悪いなどがあると思うが、新しく室内サッカーができる施設などを増やしてほしい。必要であれば、ゴールや防球ネットの購入のための資金として使用料をさらに値上げしても構わないと思う。	様々なスポーツにおいて、それぞれ必要となる条件を満たした施設・設備を提供できることが望ましい状態であると考えています。しかし、現在の厳しい財政状況の中、全ての競技への施設整備を行うことは、難しい状況にもあります。今後、いただいたご意見を参考に、既存施設の有効活用などにより、スポーツ施設の整備を進めていきます。
	現在ボクシングの競技者が増えている。ボクシングの練習、競技施設の整備をしてほしい。リングなどは格闘技共用で使用できるようにすると稼働率も上がる。	
	より多くの区民にスポーツをしてもらうことは大変良いことだと思う。しかしテニスコートに行くと、年配の方が多く、一般社会人の利用が少なく感じる。一般社会人が利用したくても、すでに予約でコートが取れない現状がある。平日は時間的に余裕のあるの方が中心に使用しても問題ないが、土・日・祝日は勤労者優先にする等の対策を考えていただきたい。	より多くの方にご利用いただけるよう、利用時間の改善など、工夫に努めていきます。
	区のスポーツ施設の利用時間を、もっと利用しやすいようにしてほしい。(他1件)	
	区の室内運動施設で、午前・午後・夜間と3区分で貸している所があるが、これを2時間単位くらいに短くし、多くの方が利用できるようにしてほしい。	
	施設使用料をもっと安くしてほしい。特に小学生、中学生が使用する際に大人と同じ料金のところについて。	
	テニスコート使用料(他のスポーツも)が高すぎる。他区と比較しても世田谷区は料金が高い。7月に値上げしたが、コートは痛んだまま。足をとられて転倒したり、転びそうになることもしばしば。運動して怪我をしては意味がない。コート整備と料金の値下げをお願いします。	施設の維持運営経費は、利用者が負担する施設利用料と、税(区民全体で負担)で賄われており、施設を利用する方と利用しない方の負担の公平性を図るため、平成25年7月から、スポーツ施設だけでなく、区民利用施設全般の施設利用料を改定しました。今後も、利用者の皆様が安全かつ安心してご利用いただけるよう、努めていきます。

該当箇所	意見概要	区の考え方
「場の整備」全体	<p>駒沢公園では、6時30分よりラジオ体操をする人が多い。しかし、ラジオを持ち込まねばならず大変なので、公園にラジオ体操用のラジオを取り付けて欲しい。6時30分に自動的に放送が流れるとなお良い。 ラジオ体操は指導者がいなくても誰でもでき、ラジオ体操でグループができているところもある。</p> <p>駒沢公園プールを復活してほしい。温水とはいいません。夏休みだけでも子どもに泳がせてあげたい。子どもたちも待っている。</p>	駒沢公園は東京都の施設となるため、いただいたご意見を東京都へ伝えます。
1 スポーツの場の体系的な確保・整備	<p>(1) 拠点施設</p> <p>大蔵運動場競技場を全天候型フィールド(天然芝から人工芝)に改修してほしい。観客席の整備でフィールドを使った国際大会を可能にする。 特定団体の使用は行わせない。</p> <p>いつでも、どこでも、だれでものお題目には腹が立つ。これまでどれほどの進歩があったのか疑問だ。 世田谷80万人の人口に対して、体育館の施設が少なく、他区には立派な重層体育館がある。区民として誇れる重層体育館を作してほしい。 各階のスポーツ設備の充実、家族でも楽しめる大食堂を希望する。土地の問題では、区内にある都所有の砧公園がある。世田谷美術館でも利用されているが、都の理解を得て、ここに設置してほしい。</p> <p>世田谷区には大きな運動場、広い公園、体育館があり、他の地域より多いと思う。その環境を有効に使っていききたい。 一つ欠けているのがスケート場。一年中滑れる屋内のリンクを作っていただきたい。人口からいっても、また将来の選手を育てる面でも、大いに必要とされていると思う。 (他1件)</p> <p>区内各地から大蔵運動場へ行く手段が限られていて、公共交通機関では通にくい。 大きな運動場があるのに、十分に活用できていないと思う。 (他1件)</p> <p>スポーツ、文化の魅力のあるせたがやの実現のため、これからも地域の力、若者の力、そして高齢者から障害者まで日々の生活安定の為に大蔵運動場、大蔵第二運動場の施設の継続と公園や様々な施設の運営管理や、公共施設白書に掲載されているデータを参考に改修など検討しなくてはならない。</p>	総合運動場及び大蔵第二運動場は、区を代表する、スポーツ・レクリエーションの拠点となる施設です。 今後、施設の一体化を基本とした「大蔵運動施設整備計画」を別途策定し、施設の再整備を進める予定です。 今回いただいたご意見を参考に、整備計画の策定を進めていきます。
	<p>(3) 地区施設</p> <p>身近な場所にスポーツ施設を作してほしい。 (他3件)</p> <p>身近な場所に温水プールを作してほしい。 (他3件)</p> <p>区民センターの利用、小中学校の休業中の運動場の使用、近隣公園の活用、始業前の学校屋上の使用などで、スポーツの場の確保をしてほしい。</p> <p>ここ数年、会場確保に苦労している。健康保持のためにも、中高齢者のスポーツは大切です。会場の確保をしやすくしてほしい。</p> <p>高齢化が急速に進む中、健康維持の場所が必要。大きな公園が望ましいが、無理だと思うので、場所を取らない卓球場をあちこちに作ってはどうか。一ヶ所に集中しないで建てて欲しい。 (他2件)</p> <p>世田谷区ではすでに空き家の有効活用を考えているようだが、これを区民のスポーツ推進・健康の向上にも利用できたらと思う。 健康年齢が上がれば、医療費の削減にもつながる。もちろん老人だけではなく、中年・子育て中の方、子どもたちにも利用できると思う。</p>	生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツ環境の整備には、身近な場所でスポーツをする場の確保が大変重要だと考えています。 今後、学校施設の活用や、公園などの運動施設の充実など、身近な場所でいつでもスポーツができるよう、場の整備を進めていきます。

該当箇所	意見概要	区の考え方
1 スポーツの場の体系的な確保・整備	(3)地区施設 近所に公園はあるが、どこもボール禁止のところばかり。子どもたちがサッカー・野球など、安全にボール遊びができる場、思いきり走りまわれる場を確保・整備してください。 (他3件)	子どもも大人も、自由に、また気軽に、身近な場所で遊ぶ・スポーツをすることができる場合は、生涯スポーツ社会を実現するために必要だと考えています。 今後、都市整備領域との連携・協力による公園などの運動施設の充実や、高速道路高架下土地の利用など、身近な場所でのさらなる場の拡充に努めていきます。
	中学生・高校生が日常的に運動(ボール遊びなど)ができる場所が無い。現状では、運動部にでも入らないと、結局テレビゲームでもやっているしかなくなる。 せっかく小学生のときに身体を動かして遊ぶ習慣ができて、中学生・高校生の時期に中断され、運動習慣の無い大人になってしまう。 (他1件)	
	世田谷区には、投球練習ができる場所は見たことがない。 キャッチボールは、家族や友人の絆を深めるうえでも有益です。しかし、路上や公園の広場などでのキャッチボールは危険で迷惑です。 ぜひとも区の公園の一角に、ブルペンのような設備を設けてほしい。	
	自由に遊べる広場、芝生の広い空間、そして明るいトイレ、安全に行動できる場所がほしい。石とかオブジェなどは危険なので要らない。シンプルな広場がいい。草花、木陰もほしい。 きっと子どもが走る。大人も追いかけて、いい時がもてる。	
等2 と の 学 校 携 開 放 施 設 の 推 進 や 区 内 大 学 ・ 民 間 施 設 の 活 用 や 民 間 施 設	(1)学校開放の推進 学校施設をもっと開放し、場所の確保をしやすくしてほしい。 (他7件)	最も身近なスポーツの場である学校開放については、多くの区民に利用されている一方で、需要に対して慢性的な供給不足となっている現状もあります。 いただいたご意見を参考に、夜間照明の設置による利用時間拡大や、利用枠の調整など、学校施設の活用を計画に追記しました。
	(2)区内大学・民間施設の活用や連携事業の検討 民間のスポーツクラブは入会金等費用がかかりすぎる。生涯スポーツの推進には、個人の費用負担の軽減が重要な条件となる。 (他3件) 民間のスポーツジムは高額で手が出ない。 平日夜間や土日でも利用できる、手軽に通える区のスポーツ施設や教室をもっと増やしてほしい。 (他1件)	民間のスポーツクラブも、区民が身近な場所でスポーツを行う場として、有効に活用されています。 今後、区の施設の充実を図るとともに、民間のスポーツ施設についても、より活用しやすい場となるよう、民間事業者と協議を進め、実現可能な方法を検討していきます。